



ひので映画大使最新版

第31回映画大使「あなたへ」

期 日 平成24年8月25日(土)
 場 所 ワーナー・マイカル・シネマズ日の出

【ストーリー紹介】

とある刑務所の指導技官・倉島英二(高倉 健)のもとに、亡き妻・洋子(田中裕子)が生前に書いた2通の絵手紙が届く。1通には「故郷・長崎の海に散骨して欲しい」との願いが書かれており、もう1通は、長崎の郵便局への「局留め郵便」であった。受け取り期日はあと10日…。

妻の願いと、もう1通の手紙を確かめるべく、彼は車で長崎へと向かう。そして道中で様々な人達と交流していく中、妻との思い出が甦っていく…。



(C)「あなたへ」製作委員会

映画大使の「感動と感想」をお伝えします。

このコーナーは、映画を見た感想や感動を、ストーリーは伏せて「みなさん」に紹介するコーナーです。

▶ 映画大使の「第一声！」

高倉健さんの存在感が凄かった！

脇役も豪華キャストでしたね！

夫婦の絆について考えさせられました。



▶ 映画大使の「映画のツボ！」

Aさん

恋愛観や、結婚観は人によって様々だと思いますが、この作品での夫婦関係というのも、独特であったように感じました。

Bさん

実際に絵手紙で妻からメッセージを送られたら感動してしまうと思います。この作品で妻(田中裕子さん)から夫(高倉健さん)に宛てられたあの手紙、人生とは色々あって、「生きたいように生きなさい」と言ったメッセージだったのではないかと思います。脇役にも存在意味があって、とても良い作品でしたね。

Cさん

高倉健さんの今までの軌跡を紹介するテレビを観たのですが、演技が下手だと言われた悔しさから頑張ってきたという話や、これでいいのかと、常に考えながら演じているという話を聞きました。今日この作品を観て、納得の演技力でした。とても良い作品に出会えて良かったです。

Dさん

『幸福の黄色いハンカチ』や、『遙かなる山の呼び声』から見ていますが、この作品は高倉健さんのための映画、高倉健さんをイメージして描いた映画だと思いました。旅が似合う役者だといつも思っていますが、今回も良かったですね。竹田城のシーンなど、映像も綺麗でした。演技達者の脇役が多く、セリフの言い回しもゆっくりで良かったと思います。

Eさん

81歳の健さんが若々しかったですね。優しい旦那さんという役柄も良かったです。私の父も海に散骨しましたので、共感出来ました。脇役にも味があって、伏線も上手く活かされていましたね。原作も読んでみたいと思いました。

Fさん

健さんの映画は初めてでしたし、邦画も普段あまり観ないのですが、日本の風景が凄く綺麗で、しかもゆっくりしているのに退屈じゃなくて、健さんの演技にもどンドン魅了されていきました。全体的にセリフが多くなかったのが、登場人物の一言一言が心に残りました。良い映画でした。

Gさん

いつも子供と一緒に子供向け映画を観ていて、久しぶりに大人の映画を観たので、2時間って長いかなと思いましたが、それを全く感じさせない作品でした。俳優陣も豪華で、改めて映画っていいものだと思います。

📌 作品の内容 (印象に残ったシーンなど)

・健さんを慕っている役者が多いとの事ですが、納得の存在感ですよ。若い俳優さんにも凄い気配りをする方らしいですよ。

・劇中の『星めぐりの歌』が良かったです。宮沢賢治さんの作詞、作曲だったんですね。田中裕子さんの歌も上手でした！

・富山を始め、各地の風景が綺麗に描かれていましたね。空から撮った健さんと竹田城のシーンや、散骨するシーンの海など、素晴らしかったです。

・ピートたけしさんや、佐藤浩市さん、余貴美子さんもよかったです。三浦貴大さんはお父さんの三浦友和さんに似てきましたね。

・ロードムービーとしても楽しめました！

📌 まとめ

今作では、夫婦の絆や、人との触れ合いが主なテーマでした。妻が遺した手紙を通じて、妻が夫に何を言いたかったのか、夫がそれを読んでどう感じたのかがポイントとなるのですが、劇中ではその明確な描写はありません。しかし、高倉健さんの演技同様、余計な事は言わずに自分の胸にグッと押し込む事で、観た人それぞれが色々な答えを出せる作品であると感じました。

一期一会という言葉がピッタリと当てはまる、後味の良い作品でしたが、何と言っても、健さんの渋い演技、その存在感だけでも感動でした！

➡ [関連ページ: これまでのひので映画大使](#)

➡ [関連ページ: ひので映画大使のトップに戻る](#)

問合わせ先: 教育委員会文化スポーツ課社会教育係
電話042-597-0511(内線544)

◀ [前のページへ戻る](#) | [ページトップへ](#) ▶